

6月、チャーター便運航

FDA、福島—徳島空港 「第九」日本初演 100周年記念企画

フジドリームエアラインズ(FDA、本社・静岡市)は六月、ベートーベンの交響曲「第九」日本初演百周年記念事業特別企画として、福島空港と徳島空港を結ぶ観光チャーター便を運航する。県が十五日発表した。

福島民報社と徳島新聞社協力

福島民報社と徳島新聞社の協力で、エアトラベル徳島が二泊三日の旅行商品を企画した。六月一日に福島空港を出発後、鳴門の渦潮を船上から観光する。引き続き、日本で初めて第九が演奏された後、四国八十八カ所

霊場の一番札所「霊山寺」などを巡って帰福する。料金は一人当たり十一万九千八百円、十三万九千八百円。募集定員は八十人前後。申し込みと問い合わせは福島交通観光 電話024(531)8950へ。

福島県と徳島県は第一次大戦時にドイツ人捕虜が入れられていた板東俘虜収容所長を会津若松市出身の松江豊寿(とよひさ)が務めていた縁がある。福島民報社と徳島新聞社は第九の日本初演百周年に合わせ記念事業を展開している。

◇ ◇
FDAは八月二十一日、二十四両日、福島空港と稚内空港(北海道)を結ぶチャーター便を運航する。三泊四日の日程で、礼文島や利尻島などを観光する。料金は一人当たり十六万円。問い合わせは阪急交通社仙台支店 電話(0570)028989へ。